

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

美味しいプレゼントに笑顔の花が咲く♪

大宜味村マンゴー産地協議会より小中学生にマンゴー寄贈



大宜味村マンゴー産地協議会より大宜味村学校給食センターにマンゴーが寄贈され、7月18日（木）小、中学校の学校給食として提供されました。

寄贈されたマンゴーは134個。1人に約半分もあたる大満足の量♪児童生徒たちはビッグな夏の贈り物を嬉しそうに頬張りました。

素敵なデザートを味わった6年生の松本永琉さんは「滑らかで優しい味。めちゃくちゃ美味しい♪100点中1000点！」笑顔になり、新城七翔さんは「甘くて美味しい♪量もいい」と喜びました。

協議会会長の仲村靖さんは「地元の子どもたちに大宜味村で作っているマンゴーをぜひ味わってもらいたい、村でマンゴーを栽培していることを知ってもらいたいという思いから今回の寄贈となった。村産のマンゴーのおいしさを知ってもらうとともに、マンゴー栽培に興味を持ち、将来マンゴー農家が増えることを期待してる」と話しました。

美味しいマンゴーのおかげで給食時間がより一層楽しいものとなりました。

マンゴー産地協議会では来年も寄贈を考えているそうです。マンゴーパワーで暑い夏を乗り切りましょう！

元気いっぱいの園児たちに元気と癒しをもらう こども園七夕まつり



7月5日（金）、おおぎみこども園において七夕まつりが行われました。

夕方になってまだまだ暑中でしたが、忍者になりきって演舞する園児たちの可愛いしぐさや、体を大きく使って思い切り動き回る姿、大きな声で元気よく「たなばたさま」を歌う姿に応援にきた家族たちも癒しをもらいました。最後は保護者も一緒になって踊り、会場全員で楽しめる会となりました。

バスケット子たちに夢を 県バスケットボール協会より寄贈

6月21日（金）に沖縄県バスケットボール協会（日越延利会長）より、村に寄贈されたバスケットボールとFIBAバスケットボールワールドカップ2023開催記念グッズが7月5日（金）、小中学校バスケットボール部を代表して大宜味小学校ミニバスケットボール部に手渡されました。

真新しいボールとたくさんのグッズのプレゼントに大喜びのバスケット部たち。ボールもグッズも大切に使いますと約束しました。

協会のみなさま、素敵なプレゼント、ありがとうございました！！



断る勇気のある人になろう！ 令和6年度青少年非行防止大宜味村民大会

7月17日（水）、大宜味小学校多目的室において令和6年度青少年の非行防止大宜味村民大会が開催されました。

生徒を代表し、中学校3年生の下地倅生さんは「沖縄県では中学生の飲酒率が高いと出ている。誘われても断る勇気のある人になろう」とあいさつしました。

夏休みに入り、自由に使える時間も増えてきますが、生活リズムを崩さず、自分の行動に責任を持ちましょう。また、大人も子どもたちの見本となるような行動をし、村の財産である大宜味っ子たちをみんなで守っていきましょう。



大宜味村へようこそ！！「体験の翼」 大宜味村・西会津町児童交流事業

7月26日（金）～28日（日）の3日間、福島県西会津町から交流団が来村し、令和6年度「体験の翼」夏季交流が実施されました。

昨年度から大宜味村の児童は小学6年生が対象。クラス全員21名の児童で交流団を結成、西会津町からは同年児童28名が来村し、交流を深めました。



初日の歓迎式では少し緊張した様子の児童達でしたが、夕食を共にし、お互いの村や町についてクイズを出し合うとあっという間に仲良くなりました。

2日目は朝から国頭村安田のヤンバルクイナ生態展示学習施設でヤンバルクイナのクー太を観察。昼食後には宮城公民館前でバナナボートやカヌーなどのマリン体験を行い、交流を深めていきました。その後改善センターホールでこの日の寝場所を作るため、テントやダンボールハウスを協力して建てました。



夕食は保護者のみなさんの力も借り、バーベキュー。おいしいお肉や豪華なかき氷に舌鼓を打ち、お腹も心も満腹になりました。

消灯後もひそひそお話ししたり、駆け回って怒られたり!? こっそり?と交流を続け、より仲を深めました。最終日のお別れ式、3日間の交流を終え、西会津の仲間たちが大きな声で感謝の気持ちを伝えました。短い期間でしたが、友だちもたくさんでき、濃密な時間を過ごすことができました。

来年2月には大宜味村の交流団が雪国の西会津町を訪問します。

雪の西会津町、そして今回できた友達との交流を楽しみ、また大宜味村と西会津町の文化や自然の違いを知り、たくさんの思い出を作ってきてください！



令和7年度大宜味村育英会入学準備金貸付募集についてのお知らせ

大宜味村育英会では、村内に住所を有し、大学、短大、専門学校（高等専門学校含む）等に進学予定の者で、経済的な理由により修学困難な学生を対象に、令和7年度入学準備金貸付奨学生を次のとおり募集します。

- 1 採用人員 若干名
- 2 貸付金額 30万円（県内・県外同額）
- 3 応募資格（1）大宜味村に住所を有し、現在大学、短大、専門学校等に進学予定の者で、経済的な理由で修学困難な者。
（2）学業優秀、志操堅固であること。
（3）家計上学資の支出が困難であること。
- 4 提出書類 ① 大宜味村育英会入学準備金申請書
② 住民票謄本（続柄入り）
③ 所得証明書（同一生計者全員分）
④ その他必要な関係書類（村育英会が必要と判断した場合のみ）
⑤ 合格証明書（合格決定後に提出）
⑥ 在学証明書 ※進学後、令和7年4月1日以降に提出
- 5 提出書類の受付期間
【前期】 令和6年8月1日（木）～令和6年8月30日（金）
※午前8時30分～午後5時15分（土曜、日曜、祝祭日は除く）
- 6 提出先 大宜味村育英会（大宜味村教育委員会内）〒905-1392 大宜味村字大兼久 157 番地
- 7 奨学生決定通知
貸与者の選考は、願書等の書類に基づき、村育英会役員会の審議を経て決定します。
（決定後、本人宛に通知します。）
- 8 その他 月額貸付奨学金（月額3万円）については、4月の募集となります。
（申請受付は別途ご案内いたします。）
- 9 お問い合わせ 大宜味村教育委員会 TEL0980-44-3006（担当：山城）

図書室情報

No.60 2024年（令和6年）8月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）
大宜味村字大兼久 157 番地 0980-44-3009

- 『生きのびるための事務』 坂口恭平著・マガジンハウス
- 『発達障害大全』 黒坂真由子著・日経BP
- 『どうやってできるの？チョコレート』 田村孝介著・ひさかたチャイルド
- 紙芝居『はじめてのさんびきのこぶた』 ヒロミチイ作・教育画劇



8月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

～図書のリクエスト受付中～

※年度内お一人5冊まで本のリクエストができます！沖縄県立図書館の本を取り寄せるサービスも利用できますので、お気軽にお声掛けください！！

●利用状況累計

○来室者数…のべ3,418人	○7月の統計（7/26まで）
○貸出冊数…5,815冊	○来室者数…のべ54人
○登録者数…179人	○貸出冊数…65冊
	○現在の蔵書数…7,390冊

令和6年度わんぱく体験団 第1弾「田嘉里川で生きものをつかまえて調べよう!!Part13」

6月29日（土）、田嘉里川において令和6年度わんぱく体験団②「田嘉里川で生きものをつかまえて調べよう!! Part13」が行われました。

今年も来てくれました頼もしい助っ人。辺土名高校、琉球大学のお兄さん、お姉さん。一緒に生きものを見つけよう！捕まえよう！遊んじゃおう！

毎度のことですが、最初に捕獲目標決め。今年の各班の目標は「テナガエビをつかまえる」、「10種類以上とる」、「数で勝つ」、「15匹つかまえる」の4つがあがりました。

それぞれの目標に向かい、網とバケツを持って、田嘉里川へ出発です。



梅雨時期の大雨で例年より水かさが増えている川。去年とはなんか違う風景（川の形変わっている？）ですが、気にせず進もう、今年の田嘉里川。毎年のことですが、最初からびしょびしょのわんぱくたち。全身使って生きものを探します。その後先輩たちから捕まえ方を教わり、徐々にカニやエビも捕まえられるように…。今年は何れくらい捕れたかしら？



捕獲の時間が終わったら、いよいよ川遊びタイム♪ ジャブジャブ泳ぐのもあり、少し高い所から飛び込むもあり。今年は何が飛び込めるか？わんぱく力（勇気）が試されます。なかなか飛び込めない人もいれば、躊躇せず飛び込める人も…。一度飛び込んでしまえば、もう大丈夫♪ 何回も飛び込みます。今年出来なかった人も来年飛べればいいさ。



泳ぎ終わって、ご飯も食べて、気持ち的にはもう寝たいところですが、ここから図かんづくり。捕まえてきた生きもの名前を本や写真、資料を使って調べます。大きさや、特徴、川のどこにいたか？も観察してわかったことや捕獲した時を思い出して書き入れ、自分たちオリジナルの図かんにします。調べ学習も真剣なわんぱくたち。最後にみんなの捕獲結果をまとめて、今日の作業は終了です。1日頑張ったわんぱくたち。上等な図かんに仕上げるのが楽しみです。



天野鍛助日記ヲ読ム6 (159号つづき)

1920（大正9）年、民選による初の大宜味村長として三期を務め、1931（昭和6）年の村政革新運動により辞任した饒波出身の天野鍛助（あまの かすけ・1883—1966）が書き遺した日記を紹介している。村長辞任後も、村議、県議として精力的に飛び回り、日々の細かなことまで日記に記していた天野だが、米軍上陸の1945（昭和20）年は、8月6日まで空白のページが続いており、誰もが生き延びるのに必死だったことがうかがえる。

そして、敗戦後の収容所生活が続く中、米軍は沖縄諮詢会設立準備のため、各地の収容所から指導的立場の者を選出し石川に集めて会議を開いた。それはまさに日本がポツダム宣言を受諾した8月15日のことであった。それは、沖縄中から集められた24名による投票によって15名の諮詢委員を選ぶというもので、大宜味から天野と山城東栄、国頭からは知花高直、平良吉盛、東から池原善通の5名に白羽の矢が立ったのである。沖縄諮詢会とは、戦後の沖縄本島における最初の行政機構で、24名の投票によって選ばれた15名の中から、志喜屋孝信が委員長に推され、1946（昭和21）年に沖縄民政府が創設されるまで、米軍政府と住民との意思疎通機関としての役割を果たすことになった。

またこの頃は、辺土名市の発足や山に潜んでいた敗残兵の投降、辺土名高校の誘致など様々な出来事があり、世代わりに揺れる激動の時代を天野の日記から切りとって見た。



沖縄諮詢会（一九四五年）

- 八月一日 午前五時前平良発七時半頃石川着、九時委員会開催。
- 八月一日 オールカンパンニテ中食ヲ喫シ午後一時頃平良発、五名共辺土名へ直行、ジュブラノ隊長ニ石川会議ノ報告ヲナシ自宅ニ帰ル、夕刻、饒波有志ニ対シ石川会議ノ報告ヲナス。
- 八月一日 石川会議へ出席ノ為メ九時自宅出発。ラブレス中尉ノ車ニテ十一時羽地軍司令部着、午後松田精吉宅ニ旅装ヲ解キ、大宜味、国頭、羽地ノ代表ト共ニ合宿ス。其ノ間明日ノ委員一五名選挙ノ準備工作ヲナス。
- 八月二日 飯沖繩諮詢会開催、諮詢会員一五名選挙午後二時開票表二名大尉二面会ヲ求ム、夕方（食？）ヲ饗シテ送ル。
- 八月三日 辺土名軍区域ヲ村トスルノ達アリ委員二五名選出方、村長、班長、区長、吏員任命ニ関スル説明アリ解散、ラブレス中尉ノ車ニテ送ラル。
- 八月四日 辺土名軍区委員選挙 四時前選挙終リ監督モウゲン大尉ニ当選ノ挨拶ト自己ノ抱負ヲ述ブ。
- 八月五日 第一回委員会開催 開会ニ先立テ飯議長選挙スル事ニナリ議長選挙ノ旨ヲ宣シタルモ番外ラブレスヨリ議長ハ後デヨイ市長候補三人ヲ選挙セヨトノ事デ候補者ノ詮衡ニ移ル。市長ハ大宜味、助役正副長ハ国頭ヨリトシ候補者山城東栄、金城鍛助、辺野喜親盛ヲ選挙シテ解散セリ。
- 八月六日 市長選挙（山城東栄当選）
- 八月七日 高等学校設立委員会 国頭ハ辺土名ノ学校ノ適地ト大宜味ハ喜如嘉ト主張シ意見纏ズ両候補地ヲ实地視察スルコトニ決定。○八月八日 市役所ハ地方事務所ニシテ政治ハ元ノ村ニテ執ル旨ヲブレスヨリ市長へ令達アリタリト云フ。

天野鍛助日記（大宜味村史資料編）

村史編さんだより

第160号 2024年8月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

大城貞俊氏より寄贈本多数

大兼久出身の大城貞俊氏より蔵書寄贈の申し出があり、宜野湾市のご自宅に伺い、沢山の貴重な蔵書をもらい受けてきました。教職の傍ら、長年、詩人、作家としてもものを書いて来た人の書齋は、ちょっとした図書室にも匹敵するような壮観な眺めで、膨大な蔵書の中から沢山の本を選んでどんどん箱に詰められていきましたが、車に乗り切らず、又の訪問を約していつまを告げると、お土産として職員1人ひとりに自著を数冊ずつ持たせてくださり、作家の手ずから著作をいただくという特別な体験に感激して帰路につきました。

寄贈の本は、近年の芥川賞・直木賞受賞作はほとんど揃っているうえどれも保存状態がよく、整理・登録が済み次第、書架に並べられていきます。また、大宜味村図書室で大城貞俊氏の著書も多く手に取ることが出来ますので、山原の心象風景や郷土を題材につむぎだされた、懐かしさの中にどこか切なくなるような“貞俊ワールド”にぜひ触れてみてはいかがでしょうか。



大城貞俊氏の本は、「大宜味村伝記文学など」のコーナーにあります。

大城貞俊（おおしろさだとし）

1949年生まれ。塩屋中、辺土名高校で教鞭を執ったこともあり恩師と慕う世代も多い。その後県立高校や県立教育センター、昭和薬科大学附属中等学校勤務を経て2009年琉球大学教育学部採用、2014年同教授で定年退職。その後は執筆活動に専念。主な著作に、小説『椎の川』（1998 具志川市文学賞）、戯曲『山のサバニーヤンバル・バルチサン伝』（1997 第1回沖縄市戯曲大賞）、詩集『或いは取るに足りない小さな物語』（2004 第28回山之口賞）、小説『アトムたちの空』（2005 第2回文の京文芸賞）、『一九四五年・チムグリサ沖繩』（2017 第34回さきがけ文学賞）、『風の声・土地の記憶』（2021）、『螢の川』（2022）、『ヌチガフウホテル』（2023）など多数。

大宜味村図書室で読む事ができる大城貞俊の本紹介（一部）

○椎の川（1998）昭和17年、本島北部の閑閑な山村で暮らす松堂家の人々。貧しいながらも労わり合い和やかな日々を過ごしていた。ところが、母親の静江が、当時不治の病と恐れられていたハンセン病を患ったのである。村人がパニックに陥る中、夫の源太は沖縄戦に召集される。残された子どもは太一と美代は、隔離された母静江を探すのだが…。父の赴任に伴い国頭村楚洲で暮らした体験から着想を得たという。



○ウマーク日記（2011）戦後、米軍基地の兵士とウチナー娘との間に生まれた双子の兄弟マークとジョージ。二人のウマークぶりを描いた少年期から、物語は「世界のウチナーンチュ大会」へのクライマックスに向かって突き進んでいく…沖縄の戦後半世紀余を小説で描いた作者渾身の意欲作。

○ヌチガフウホテル ヌチ（命）がスティル（ふ化する）ラブホテルで殺人事件が起こった。ここで働く6人の女に嫌疑がかかる。飾り気のない女たちの会話から、悲しい人生が浮かび上がってくる…。小説の常識を壊した実験作「ぶながや」を併載。





政信教育長のあじま～コラム

「歴史的・文化財遺産の尊重」

6月28日（金）、「沖縄地区史跡整備市町村協議会」が本村で開催されました。この会は「加盟市町村が協調して、史跡等の整備に関する調査研究及びその具体的な方策の推進を図り、もって文化財の保存と活用に資することを目的とする」として活動しており、毎年、加盟市町村持ち回りで大会を開催しており、今回は大宜味村大会となったわけです。文化庁の主任文化財調査官、沖縄県教育長からの来賓挨拶もありました。

大会では、記念講演として米須邦雄前教育長に「大宜味村の猪垣」について、また、現地文化財視察では、旧役場庁舎等を案内しました。文化財としてのもう一つの目玉の根謝銘城は突然のスコールのため案内はできませんでしたが、本村の文化財等を十分アピールできたと思っています。主催者、来賓挨拶、大会決議文の中でも歴史的・文化的遺産を後世に引き継ぎ、活用していくことの大切さを協調しておりました。

歴史的・文化的遺産を後世に引き継ぎ、活用していくのは教育の役割です。学校教育では地域の伝統文化を尊重し郷土を愛する心を育てるために、道徳を中心に各教科において、指導する内容があります。本村でも前述の「猪垣」、旧庁舎、喜如嘉の芭蕉布等地域の歴史、伝統文化に係る学習を実施しています。その学習を9年かけて体系的に学習するため、現在、教育委員会では、「地域を愛し、誇りに思う心を育む」ことをねらいにして、学校と連携して大宜味村民科（仮称）カリキュラムの作成を手がけています。地域を愛する子を育てるには、まず地域を知ることです。長年続いている豊年祭も人口減少に伴う後継者不足に悩まされる地域もあると聞いています。地域に関わる学習を地域人材を活用しながら充実させ、地域を愛し、誇りに思う気持ちを育てていきたいと考えています。

2024年ウミガメ情報 7月25日現在

NO	海岸名	上陸・産卵日	脱出予想日数	脱出（予想）月日	種類
1	塩屋	5月10日	61	7月14日	アカ
2	活性化センター前	5月25日	60	7月23日±5	〃
3	活性化センター前	5月29日	58	7月26日±5	〃
4	塩屋	6月15日?	50	8月4日?	アカ
5	喜如嘉	7月15日?	66	9月8日?	アオ
6	喜如嘉	7月21日?	55	9月14日?	〃

※脱出予想月日は目安です。
気温や天候により前後する場合があります。

8月の行事予定

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1日（木）区長会 | 17日（土）旧盆（中日） |
| 3日（土）（中）地区1・2年生バスケ大会 10日、11日 | 18日（日）旧盆（ウークイ） |
| 4日（日）リフレッシュウィーク ～ 10日 | 21日（水）大宜味村・蟹江町中学生交流会 |
| 7日（水）学校閉庁日 ～ 9日 | 22日（木）わんぱく③キャンプ ～ 23日
定例教育委員会会議 |
| 10日（土）大宜味村夏まつり ～ 11日
郡軟式野球大会 ～ 11日 旧七月七日 | 24日（土）郡バスケットボール大会 ～ 25日 |
| 11日（日）山の日 | 25日（日）郡ソフトテニス・郡ボウリング大会 |
| 12日（月）振替休日 | 27日（火）塩屋湾のウングミ |
| 15日（木）終戦記念日 | 28日（水）2学期始業式 |
| 16日（金）旧盆（ウンケー） | 30日（金）郡ゴルフ大会 |

8月7日



バナナの日

毎日暑いですね。体はジリジリ、気持ちはグタグタ、なかなかやる気がわかない。ただ、朝の海はきれいです。波もなく穏やかに空と海が一体になって…ずっと眺めていたい景色でした。夏の海、見ている分には大好きです。